

補助事業番号： 20-2-071

補助事業名： 平成20年度 視覚障害者の自立援助啓発普及補助事業

補助事業者名： 社会福祉法人 日本点字図書館

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

視覚障害者にとって最も不自由である情報収集の問題を解決するため、テープ雑誌「東洋医学研究」及び「ホームライフ」を発行することで、視覚障害者が自立と安定した日常生活を営めるよう正しい情報や文献知識を提供し、もって公益の増進に寄与することを目的とする。

(2) 実施内容

視覚障害者のためのカセットテープによる録音雑誌「東洋医学研究」「ホームライフ」を平成20年4月から平成21年3月まで、それぞれカセットテープ1本に2時間収録し、毎月1回発行し、利用者へは無料で「東洋医学研究」を11,272人、「ホームライフ」を11,826人に貸出を行ない、全国の点字図書館(82館)には無料配布を行なった。また、「ホームライフ」のみ、療養所(13施設)へも無料配布を行なった。なお、「ホームライフ」については、当館の事業である点字・録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」にコンテンツ(音源)をアップし、音声ソフトを使用してパソコンの利用できる視覚障害者に配信を行っており、毎月約120名がホームライフを利用している。

2. 予想される事業実施効果

一般の健常者(晴眼者)は、現在、社会にあふれている多種多様の情報をインターネットをはじめとして、テレビや新聞、月刊誌、週刊誌等から選択して入手することができます。それに対し、視覚障害者は、最近では音声ソフトを使用してパソコンを利用できる人たちが増えてはいますが、大多数はパソコンを利用することができず、必要な情報を、必要な時に選択し、入手することが非常に困難な状況にあり、情報の取得という意味で大きなハンデをおい、自立生活の安定に大きな障害となっています。「東洋医学研究」ではあん摩・マッサージ・指圧・鍼灸などの理療関係に従事している、または従事者を目指す視覚障害者へ、そして「ホームライフ」は家事・育児・料理など、日常生活をする視覚障害者へ情報を定期的に提供(発刊)することで、情報入手を少しでも容易にするとともに、今後の自立生活の安定に寄与するところが多く、その効果は大なるものが予想されます。

3. 本事業により作成した印刷物等

無し

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名：社会福祉法人 日本点字図書館(ニッポン テンジ トショカン)

住所：169-8586

東京都新宿区高田馬場 1-23-4

代表者名：理事長 田中 徹二(タナカ テツジ)

担当部署：総務部庶務課 (ソウムブ ショムカ)

担当者名：主任 山下 実(ヤマシタ ミノル)

電話番号：03-3209-0241

F A X：03-3204-5641

E-mail：nitten@nittento.or.jp

U R L：<http://www.nittento.or.jp/>